



情報共有会

一般社団法人 国際フレイトフォワードーズ協会

令和4年6月17日

1. フレイトフォワードターの役割

1. フレイトフォワードターの主な商品

海上貨物輸送を主とした物流サービス

(1) 総合パッケージ商品

* 汎用性の高いパッケージ（Port-Port等）

* オーダーメイドのパッケージ（SCM等）

(2) 或いはその一部

(3) 実情に応じた柔軟な提案

2. フレイトフォワードターが調達する素材

(1) 海上輸送(多様な船社から)

(2) 国内外の内陸輸送、通関、梱包、荷役、その他輸送に必要な素材

(3) 自社或いは代理店の情報網

その他

II. 取扱実績：外部統計との比較

コンテナ輸送量実績の比較

(単位：千TEU)

	2019年	2020年	2021年
1. アジア全体の輸出入総量 = a *	91,163	95,510	98,850
2. 本邦発着の輸出入貨物 = b *	14,790	13,562	未公表
輸出	5,886	5,254	未公表
輸入	8,904	8,307	未公表
3. JIFFA実績統計 = c	4,927	4,861	5,192
輸出	1,979	1,841	2,082
輸入	2,948	3,020	3,111
4. シェア等			
(1) アジアにおける日本のシェア (b÷a)	16.22%	14.20%	-
(2) 本邦におけるJIFFA のシェア (c÷b)	33.31%	35.84%	-

出典：

a * アジア全体の輸出入：海上荷動きの動向 | 公益財団法人 日本海事センター (jpmac.or.jp)

b * 本邦発着の輸出入貨物：国土交通省港湾統計（年報）第2部第5表-1

III-1.最近3カ年の実績(JIFFA): 輸出

(1) 輸 出 (TEU)

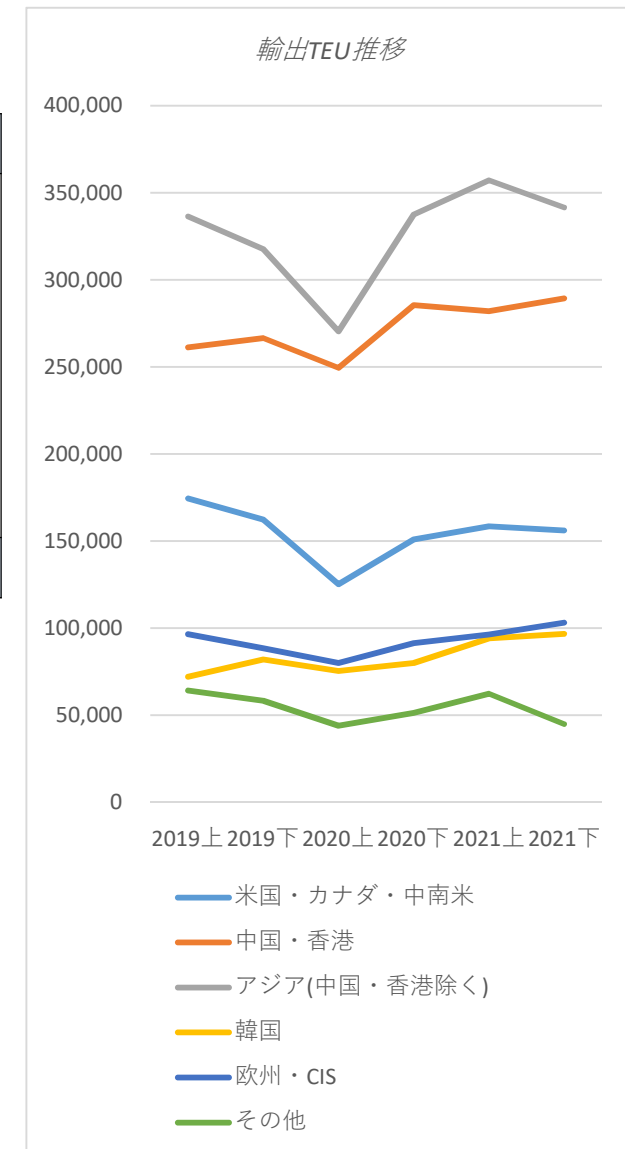
相手国	2019上	2019下	2020上	2020下	2021上	2021下
米国・カナダ・中南米	174,366	162,234	125,135	150,796	158,450	156,083
中国・香港	261,157	266,404	249,486	285,502	281,916	289,227
アジア(中国・香港除く)	336,283	317,605	270,403	337,512	357,058	341,519
韓国	72,041	81,957	75,304	80,015	94,123	96,675
欧州・CIS	96,460	88,366	79,977	91,411	96,291	103,127
その他	64,046	58,163	43,966	51,210	62,270	44,847
総計	1,004,353	974,729	844,271	996,446	1,050,108	1,031,478

2020年上半期は記録的な落ち込み(前年同期比16%減)

* 東南アジア向け (前年同期比20%減)

* 米大陸向け (前年同期比28%減)

以降中国向け、欧州向け、韓国向けが堅調



III-2.最近3カ年の実績(JIFFA):輸入

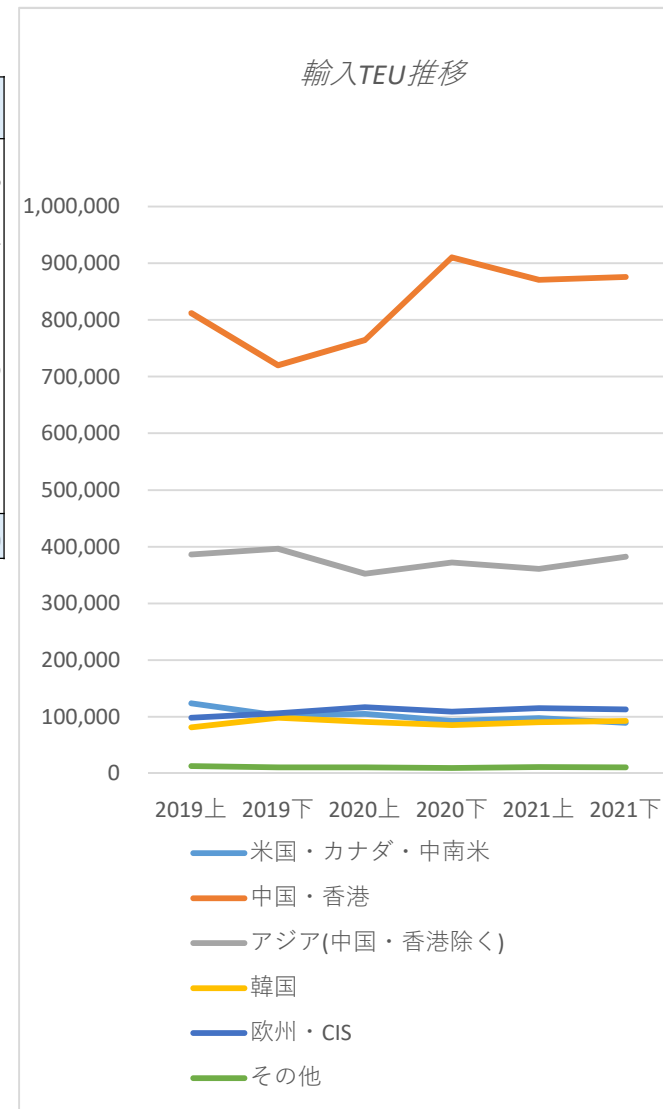
(2) 輸 入 (TEU)

相手国	2019上	2019下	2020上	2020下	2021上	2021下
米国・カナダ・中南米	123,780	102,294	105,278	92,659	97,783	89,148
中国・香港	811,783	719,714	764,529	910,379	870,708	876,044
アジア(中国・香港除く)	386,354	396,335	352,324	372,196	361,000	382,116
韓国	81,529	98,108	91,217	85,253	90,405	92,616
欧州・CIS	98,101	105,963	117,129	109,133	115,213	113,195
その他	12,935	10,895	10,620	9,502	11,476	10,921
総計	1,514,482	1,433,309	1,441,097	1,579,122	1,546,585	1,564,040

輸入は比較的堅調

但し北米からの箱回しに懸念発生

相手国	2019上	2019下	2020上	2020下	2021上	2021下
アメリカ	102,021	84,339	86,762	74,556	79,417	71,175
カナダ	9,359	5,895	6,818	6,204	5,813	4,911
中南米	12,400	12,060	11,698	11,899	12,553	13,062
合計	123,780	102,294	105,278	92,659	97,783	89,148



IV-1. 各国に展開する本邦フォワーダーの声

米国

1.現状

- (1) Bookingスペースに多少余裕がでてきた実感はある。
- (2) サンペドロ湾2港の長期蔵置コンテナに再び増加傾向。特に鉄道接続貨物。米国やカナダ内陸の鉄道ターミナル混雑の情報が次々に。
- (3) 鉄道滞貨対策としてトラックに流れる貨物⇒昨年の傾向に似てきた
- (4) 国内陸運賃は値上がり基調。Fuel Surchargeも値上がり
- (5) 混乱に備えて在庫積増し検討の動きも。但し倉庫のキャパは？
- (6) 米国出しは比較的動かし易くなったが、Reefer Containerが足りない

2.注目していること : 米国側の対策と景気予測

- (1) 消費は更に過熱するのか？
- (2) 国内滞貨対策 : 24/7 課金制度 次の手は？
- (3) 労使交渉への早期介入は？

3.BCP : 東岸、カナダ・メキシコ、ガルフ(地方港)

IV-2. 各国に展開する本邦フォワーダーの声

中国・上海

1. 上海

- (1) 上海港の動き出しは比較的緩やか。まず滞留貨物の荷捌きから始まっているとみられるがトラックや労働者が不足。当面モニタリングが必要。
- (2) トラックの奪い合いで陸運費用は上昇。市内車両の通行証は不要となったが市外からの入境には規制あり。
- (3) オフィス機能は比較的順調に回復
- (4) 代替港(例) : 寧波・青島・香港・深圳・連雲港・南通・太倉・張家港・廈門 他
- (5) 代替港との輸送手段 : 内航船(河川、海運)・鉄道・トラック(?) 応変な柔軟性を要す

2. 上海以外概況

- (1) 拠点間でトラックが自由に往来ができるまではまだ時間を要しそう。
- (2) 香港-深圳間のダブルライセンストラックに台数制限。蛇口港にコンテナ集中

IV-3. 各国に展開する本邦フォワーダーの声

欧州・CIS

1. 本船遅延の問題

- (1) 往航・復航とも遅れが常態化。経由港の混雑が原因
TS港で長期蔵置の例も。
- (2) 手配替え頻発。積込までの付帯コスト急増
- (3) 本邦輸入食品の賞味期限にも影響。冷蔵コンテナも不足
- (4) 往航のスペースは緩みつつあり、運賃も下がり基調ではある

2. トラック、倉庫 他

- (1) ウクライナ人運転手帰国のためドライバー不足
- (2) ロシア向けの待機貨物が倉庫スペースを圧迫
- (3) 欧州規格の通い容器(EPAL)が不足(本邦)
- (4) ウクライナ迂回ルートとしてコンスタンツァ港(ルーマニア)が活況

IV-4. 各国に展開する本邦フォワーダーの声

東南アジア

1. 港湾混雑と本船遅延

- (1) 特にタイからの輸出スペース獲得に各社苦勞している。
クロスボーダーサービスにも脚光 (例: タイ国内車上受け-シンガポール積み等)
- (2) シンガポール、高雄等T/S港での接続待ち期間はコロナ前後で倍増
TS港から先の接続船スペースも安定せず往航復航ともスケジュール管理に苦慮
- (3) 時期により船社により船腹もコンテナサプライも安定しない。
- (4) 船名変更、抜港等により手配替え頻発 ⇒ 船積コスト増(往航・復航とも)

！！中国に次いで本邦輸出入量が多い反面、TSによる仕向地も多いこの航路のスケジュール安定は重要課題。

2. コロナ禍前後のJIFFA会員取扱実績(アジア・TEU)

TEU (輸出)

相手国	2019上	2019下	2020上	2020下	2021上	2021下
ベトナム	51,601	52,856	50,054	61,120	59,441	54,863
タイ	73,845	70,675	55,646	75,994	79,032	77,174
台湾	58,704	55,711	57,577	59,840	63,668	59,404
インドネシア	26,500	24,211	17,060	23,181	28,438	28,315
マレーシア	40,377	36,523	21,954	30,561	26,943	26,197
フィリピン	23,329	21,705	16,191	20,984	21,688	21,348
シンガポール	20,222	20,121	18,479	21,722	22,631	22,546
インド	21,563	18,877	13,116	23,994	27,745	25,412
その他アジア	20,142	16,926	20,326	20,116	27,472	26,260
合計	336,283	317,605	270,403	337,512	357,058	341,519

TEU (輸入)

相手国	2019上	2019下	2020上	2020下	2021上	2021下
ベトナム	123,052	127,765	113,690	120,362	116,016	122,786
タイ	100,032	95,057	87,109	92,738	92,689	93,539
台湾	37,214	38,465	34,962	37,591	35,720	36,634
インドネシア	35,130	40,511	34,252	31,678	32,399	36,867
マレーシア	26,683	30,122	24,745	25,301	23,618	25,676
フィリピン	17,862	16,606	14,270	20,136	18,347	18,375
シンガポール	12,765	12,130	11,788	12,249	13,792	12,861
インド	8,443	6,806	5,959	6,851	7,430	9,742
その他アジア	25,173	28,873	25,549	25,290	20,989	25,636
合計	386,354	396,335	352,324	372,196	361,000	382,116

* コロナ時期に減少激しいデータは朱書きとした。

V. JIFFAの会員数と海外展開

JIFFA会員(509社)の海外展開状況 2022年1月1日現在

1. 進出先 : 54カ国
2. 進出数 (法人・支店・駐在員事務所) 1,307件
* 外国フォワーダー(78社)の拠点を含まない
3. 事業所数 : 4,167カ所
4. 人員数
 - (1) 本社からの出向 : 2,739人
 - (2) 進出先での雇用 : 156,422人

* データ : JIFFA刊行物「我が国フォワーダーの海外進出状況・外国フォワーダーの日本進出状況」第18版